

19/11/12 名古屋市議会大都市制度・広域連携促進特別委員会(名古屋城部分)

(名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし)

浅井正仁(自民・中川区): 資料にはないんですけども、今年度の要望書の中に名古屋城が入ってるんですけども、今年が入っていないんですけども、諦めたという認識でよろしいでしょうか。

財源対策主幹: 名古屋城の要望を諦めたのかというご質問と承りましたけれども、あのまず昨年度、一昨年もですけども名古屋城の整備ということで県費、県に対する要望として項目ございました。

具体的な名古屋城の整備の中身としては要望内容としましては名古屋城天守閣の木造復元に対する財政支援等ということで昨年度も要望させていただいておりました。

この名古屋城の木造の天守閣木造復元につきましては本年8月に竣工時期の見直しを表明いたしまして現在新たなスケジュールについて調整を行っているという段階でございます。

そういったことで現在のところ、来年度実施する事業内容が未確定だということでございますので、現時点での来年度要望するタイミングではないと判断しております。諦めたのかという点につきましては、その今申し上げましたように現状現在のところ来年度実施する事業内容が未確定であるので県に対する要望を控えているということの裏返してございますけれども、そういった内容が明らかになって固まってくればその都度、適宜に要望は再開していくということになろうかと考えております。

浅井正仁(自民・中川区): タイミングが合えば要望は出すということでもいいんですけども、現実には平成31年度、30年度から出たと認識してますけどもこの要望。

今年なくなったというのは財政の査定がね、これは甘かったんじゃないかなと思うんですけどもどう思われますか。

財源対策主幹: 申し訳ございません。

本日の委員会は要望活動に関することでございますので、昨年あったものがなくなったという観点でのご質問かとは思いますが、我々財政局といたしましても都度都度ですね、最善のというか、できる限りの判断をしていると考えているところでございます。

浅井正仁(自民・中川区): 今年要望がなくなったというのが財政局として、ある意味的確な判断だと私は思っています。リスケもないのに、うん。

そういった面では財政局は素晴らしい判断なのかなとそんなふうに思っておりますが、それで名古屋城はいいんですけども、来年度は未確定だからということで理解しました。